

国内株式市場の動向と今後の見通し ならびに基準価額の変動に関するお知らせ

《国内株式市場の動向》

3月9日の国内株式市場は、中東の地政学的リスクの高まりを受けた原油価格上昇の影響から、ほぼ全面安の展開となり、日経平均株価が前日比 2,892.12 円安(▲5.20%)の 52,728.72 円、TOPIX(東証株価指数)が前日比 141.09 ポイント安(▲3.80%)の 3,575.84 ポイントとなりました。

市場下落の背景には、中東情勢の緊迫化があります。先週、米国とイスラエルがイランへの攻撃を実施し、イランの最高指導者であるハメネイ師を殺害したと公表されたことや、さらにイランが原油輸送の要であるホルムズ海峡の航行を禁止したと伝わったことで、原油価格上昇によるインフレ懸念などが意識されるようになりました。

また、本日、イランメディアがハメネイ師の後継に、同氏の次男であり反米保守強硬派でイラン革命防衛隊と密接な関係を持つとされるモジタバ・ハメネイ師を選出したと報じた一方で、米国メディアはトランプ米大統領がイランに対して地上への特殊部隊投入を選択肢として検討していると報じたことから、イラン情勢の一段の悪化と原油価格の急騰などが懸念され、国内株式市場は大幅下落となりました。

《基準価額の変動状況》

国内株式市場の下落に伴い、以下のファンドが前日比で5%超の下落となっております。

ファンド名	基準価額	前日比	騰落率
A L A M C O S R I 社会貢献ファンド	11,845	▲694	▲5.53%
A L A M C O 日経平均ファンド	10,540	▲587	▲5.28%
A L A M C O D C日経平均ファンド	61,281	▲3,425	▲5.29%

《今後の見通し》

国内株式市場は、中東情勢やそれに伴う原油価格の動向を見極めながら、しばらくは下値を模索する展開になると予想しています。また、先週末に発表された米雇用統計において、非農業部門雇用者数が事前予想を大きく下回る結果となり、米国経済がスタグフレーション(景気停滞とインフレの同時進行)に陥るとの懸念が再燃していることも株価の下押しに働くとみえます。ただし、中期的には中東の地政学的リスクが落ち着けば、高市政権の財政拡大への根強い期待や日本の名目GDP(国内総生産)の拡大基調は続くとの見方を背景に徐々に堅調さを取り戻すとみています。

以上

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。2025-03-1884

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧ください。

■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

- 申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限 0.3%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用
…… 信託報酬 上限 2.035%(税抜 1.85%)
- その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。
詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 301 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。2025-03-1884